

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成27年6月18日 (2015.6.18)

【公表番号】特表2013-515494(P2013-515494A)

【公表日】平成25年5月9日 (2013.5.9)

【年通号数】公開・登録公報2013-022

【出願番号】特願2012-546416(P2012-546416)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年4月10日 (2015.4.10)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 9】

【表 1】

		スポット用緩衝液	
		DNA のみ	10% PEG
FTA Elute マトリックス	10% PEG	49	66
	20% イヌリン	62	85
FTE Elute		42	48

表 1: 追加の化学物質を含浸した FTA Elute マトリックスに適用した DNA (1 µg) の回収率(%). スポット用緩衝液は、予めくり抜いた直径 5 mm のディスクに適用する直前に DNA と混合した。各実験について、n=4 である。1.1 に記載した通り、ディスクを乾燥し、DNA を溶出した。

20% のイヌリンを含有するマトリックスが、適用した精製 DNA の最高の回収率%を示した。PEG はマトリックス含浸化学物質の可能な添加剤としても同定されたので、20% イヌリンと 10% PEG との組合せで含浸した FTA Elute も調製してさらに

検討した。１０％のPEGを含有するスポット用緩衝液を修飾マトリックス化学物質と併用すると収率がさらに増すことが確認した。